

和寒町字西和出身の

加藤大平選手 特集

和寒町栄誉賞受賞 第1号

ノルディックスキー世界選手権複合団体競技で優勝

チェコのリベツで行われたノルディックスキー世界選手権の複合団体競技のメンバーとして選抜され、見事世界一となった西和出身の加藤大平選手に和寒町栄誉賞が贈られました。

◆町栄誉賞受賞第1号

4月30日(木)、公民館恵み野ホールにおいて、加藤大平選手に町栄誉賞が贈られました。

伊藤町長は「和寒町に感動と勇気そして希望や夢を与えてくれた。昭和39年に渡辺長武選手がレスリングで金メダルを獲得したときから45年ぶりの偉業を成し遂げてくれた。町栄誉賞第1号として表彰したい」と加藤選手の偉業を讃えました。



◆受賞祝賀会

金メダル獲得と町栄誉賞、北海道表彰をお祝いしようと、体育協会、スキー協会、西和福原自治会、教育委員会が発起人となり、祝賀会が行われました。

祝賀会では、あの感動のシーンをもう一度振り返ると、金メダルを獲得した瞬間のビデオ映像が披露され、会場からは大きな拍手が送られていました。

また、主催者を代表しスキー協会の塚崎会長は「全日本の合宿期間中もあり、来年のバンクーバーオリンピックへの激励の会にしたい」と述べ、オリンピック出場への期待が寄せられていました。

◆加藤大平選手の言葉

加藤選手は「和寒町は、スキーの原点。いつでも整備されたクロカコース、ジャンプ台は少年団に入ったときに整備されていた。中学生の時には、弟と2人しか部員がいない時期もあり、ジャンプ台の整備だけで終わる日もあった。また、次の日も雪が降って整備した。そんな中、僕たちよりも先にきて、整備をして

くれた栗山さんをはじめとした少年団関係者の情熱に支えられた。バンクーバーオリンピックに出場し、成績を残して、何があってもメダルを獲りたい。世界選手権での金、オリンピックでの金も大きな夢ではあるが、複合競技のおもしろさをもっと知ってもらい盛り上がりたてくれることが最大の夢。子どもたちにぜひジャンプを勧めたい。そのときにはいつでも指導にきたい」と加藤選手の大きな夢を語ってくれました。

◆金メダルをご両親に

各新聞社の取材に対し「金メダルをかけてほしい」と答えていた父、邦雄さんの言葉どおりに、加藤選手から金メダルをかけていただきました。



金メダルをかけてもらうご両親